

報道関係各位

2017年11月27日  
サイレックス・テクノロジー株式会社

サイレックス・テクノロジー、DFS 監視・回避技術搭載アクセスポイント『AP-511AC』の出荷計画を発表  
～限られた無線 LAN 利用可能帯域を最大限に活用し、「切れない無線技術」を、また一步実現～

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町、代表取締役社長：河野 剛士、以下 サイレックス)は、DFS 監視・回避技術搭載コンカレントアクセスポイント『AP-511AC』を12月11日より出荷開始する計画を発表しました。同製品は、12月13日から15日に東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催される SEMICON JAPAN 村田機械ブースにデモ展示され、強固な接続性が求められる産業分野においても有効なソリューションであることを実証する予定です。サイレックスは、『AP-511AC』を DFS チャネル帯域監視・回避技術のショーケース製品と位置づけ、産業・医療分野への拡販を進めるとともに、国内の機器メーカーに対して関連技術の OEM 提供も順次展開していきます。



【AP-511AC】

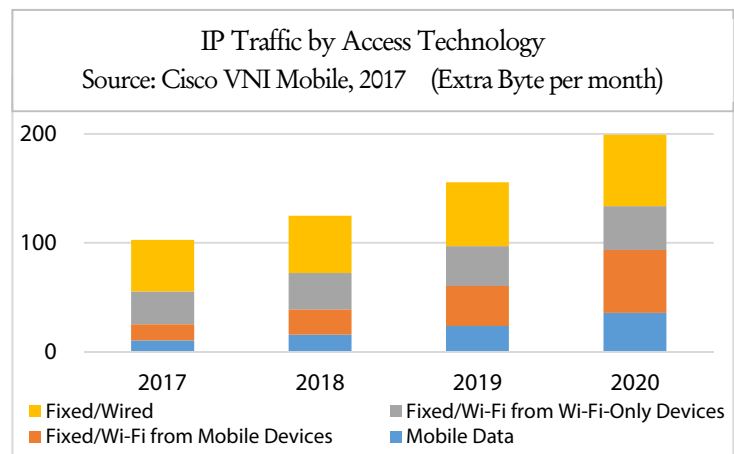
◆ 従来の 5GHz 無線 LAN の課題

現在、日本で利用可能な 5GHz の周波数帯は、W52 と呼ばれるチャンネル 36-48 の屋内利用専用帯域と、気象レーダや航空レーダなどが優先される W53/W56 と呼ばれるチャンネル 52-64, 100-140 の DFS (Dynamic Frequency Selection = 動的周波数選択機能) を必要とする帯域があります。

後者の DFS 帯域では、無線 LAN 通信を利用する前にレーダ波が無いことを 1 分間確認してから通信を開始する必要があります。また、万一レーダ波を検知した場合、直ちに当該チャンネルの利用を停止したうえで別チャンネルに移動し、新しいチャンネルで 1 分間レーダ波が検知されないことを確認してから通信を開始することが電波法で義務付けられています。

◆ DFS 帯域利用の市場要請

一方で、IoT 化の進展に伴い IP トラフィックが急増する中、『切れない無線』を実現するためには DFS 帯域を含めた無線帯域の有効活用が喫緊の課題になっています。



- ◆ 『AP-511AC』を活用したDFS 帯域活用のアプローチ  
サイレックスは前述の課題を解決するため、『AP-511AC』に無線LAN 通信から独立した監視機構を用いて常時レーダ波を監視する機構を搭載。レーダ波が検知されてもシームレスに別チャンネルに移動することで無線LAN サービスを維持することが可能です。
- ◆ 今後の展開  
本製品は5月に開催されたIoT/M2M 展サイレックスブースにて参考出展されて以降、空港や港湾などレーダ波の影響を受けやすい市場へのテスト導入が進んでいます。5GHz 帯の通信混雑を回避するために有効なソリューションとして工場・病院といった『切れない無線』を必要とする市場への展開拡大が期待されています。

### 【主な製品仕様】

型番	AP-511AC	
有線 LAN	インタフェース	RJ-45 x 2 Ports
	規格	10/100/1000Base-T (自動認識), PoE(802.3af 準拠)
	セキュリティ	MAC アドレスフィルタ
無線 LAN	規格	IEEE 802.11ac/a/b/g/n 3Tx3R (理論値 1.3Gbps)
	認証方式	WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (AES/TKIP※/AUTO)、WPA/WPA2-PSK Mixed (AES/AUTO)、Open(None/64bit/128bit)、Shared (64bit/128bit)、WPA2-Enterprise (AES)、WPA-Enterprise (AES/TKIP※/AUTO)、WPA/WPA2-Enterprise Mixed (AES/AUTO)、IEEE 802.1x (PEAP/EAP-TLS/EAP-TTLS) ※伝送方式が802.11ac/n の場合、TKIP は使用できません
	対応チャンネル	2.4GHz 帯：1~13ch 5GHz 帯：W52/W53/W56 (W53/W56 は DFS 監視・回避機能に対応)
	アンテナ	外付け 5GHz 3x3 MIMO アンテナ x1、内蔵 2.4GHz アンテナ x2
	最大接続数	200 台 (2.4GHz:100 台、5GHz:100 台) ※暗号方式が TKIP や Auto の場合、最大接続数は 100 台 (2.4GHz:50 台、5GHz:50 台) になります
	電波出力設定機能	5%~100%の範囲で5%単位で設定可能
	デバイス インタフェース	規格
	プッシュボタン	2 基：工場出荷時設定、スマート無線設定用
その他	メンテナンス機能	ログ保存機能 (内蔵メモリ)
	保存条件	保存温度：-10~50℃、保存湿度：20~90%RH (結露なきこと)
	動作条件	動作温度：0~40℃、動作湿度：20~80%RH (結露なきこと)
	最大消費電力	12W (DC12V/1.0A) ※USB バスパワーを除く
	外形寸法	200mm X 145mm X 35mm (アンテナ、ゴム足、NX-DFS 除く)
	重量	405g (本体のみ)
	設定方法	Web ブラウザ (独自の簡単設定機能に対応)、AMC Manager®
	標準価格	¥69,800-

※1 WDS 認証方式は独自方式を採用しています。異なる WDS 認証方式との接続はできません。

※記載された社名及び製品名は各社の登録商標または商標です。

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。記載の仕様は2017年11月現在のものです。

AP-511AC 製品ページ: <http://www.silex.jp/products/accesspoint/ap511ac.html?pr=171127>



サイレックス・テクノロジーについて <http://www.silex.jp/index.html?pr=171127>

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社:京都府精華町)は、機器をネットワークやワイヤレスにつなげるハードウェア・ソフトウェアの技術を核とした研究開発型企業です。

プリンタやMFPといったOA機器やワイヤレスルータなどのPC周辺機器をはじめ、医療機器・産業機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「[はい]はんな本社」に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国・インドに拠点を設けています。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■サイレックス・テクノロジー株式会社

PR 担当窓口: 経営企画部

E-mail: [press@silex.jp](mailto:press@silex.jp)

Tel. 0774-98-3781 Fax. 0774-98-3767



Twitter: [@silex\\_marcom](https://twitter.com/silex_marcom)

[http://twitter.com/silex\\_marcom](http://twitter.com/silex_marcom)



Facebook:

<http://www.facebook.com/silexjp>

